

**製品名: ICOS (16D3) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe12341**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	23kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ICOS
別名	AILIM; CD278; CRP1; CVID1; ICOS;
遺伝子 ID	29851.0
SwissProt ID	Q9Y6W8
免疫原	ヒト ICOS の合成ペプチド

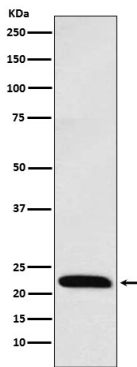
**背景**

外来抗原に対するすべての基本的な T 細胞応答、すなわち増殖、リンホカインの分泌、細胞間相互作用を媒介する分子の上方制御、および B 細胞による抗体分泌の効果的な補助を強化します。外来抗原に対するすべての基本的な T 細胞応答、すなわち増殖、リンホカインの分泌、細胞間相互作用を媒介する分子の上方制御、および B 細胞による抗体分泌の効果的な補助を強化します。T 細胞と B 細胞間の効率的な相互作用と、T 細胞依存性抗原に対する正常な抗体応答の両方に不可欠です。インターロイキン-2 の産生を上方制御しませんが、インターロイキン-10 の合成を過剰誘導します。活性化前の T 細胞のアポトーシスを防ぎます。免疫グロブリンアイソタイプ CD40 媒介クラススイッチにおいて重要な役割を果たします (類似性による)。

## 研究分野

細胞接着分子 (CAM)、T 細胞受容体、IgA 産生のための腸管免疫ネットワーク、原発性免疫不全症

## 画像データ



Jurkat 細胞溶解物における ICOS 発現のウェスタン プロット分析。